

|      |                 |
|------|-----------------|
| 受賞技術 | 遮水性盛土の総合的な品質管理法 |
|------|-----------------|

|       |      |
|-------|------|
| 技術開発者 | 坂本博紀 |
|-------|------|



受賞にあたって

このたびは、栄誉ある国土技術開発賞最優秀賞を賜り、大変光栄に感じております。本技術は関係する多くの皆様のご尽力の積み重ねにより実現したものであり、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

私はキャリアの半分をロックフィルダム建設と管理に関わる業務に携わっており、土木研究所に出向した折に、ICT施工とフィルダムの品質管理に関する研究に携わる機会を得ました。当時の山口上席研究員を初めとする諸先輩方と品質管理の合理化についての議論をする傍ら、いつか面的管理による遮水性盛土の品質管理の高度化、合理化を実現したいと考えていました。幸いにも小石原川ダムの盛立を担当する機会を頂き、多くの諸先輩方や共同開発者である龍岡文夫先生をはじめとする有識者の皆様にご指導を頂き、同僚や受注者の皆様との議論と試行錯誤を重ねながら本技術開発を実現することが出来ました。改めて関係する皆様に感謝申し上げます。

受賞後の動き

本技術のうち面的管理に関わる技術はダムの遮水ゾーンのように材料管理が厳格に実施される材料を対象としたものであり、より一般的な土の締固めへ拡張していくには課題が残されています。一方で、飽和度と締固めエネルギーを考慮した品質管理範囲の改善や、剛性指標の上下限值管理の考え方はそれら単独でも応用が可能な考え方となります。今後もこれらの課題への取組や研究成果の発信等を通じて、土木技術の発展に微力ながら貢献して参りたいと考えています。